

名古屋徳洲会総合病院
大垣徳洲会病院

心臓血管外科 術後の会 会報誌

2025年
3月発行

ハート通信

vol.43

HEART ♥ NEWS



Contents

P2. ごあいさつ
術後の会 会員の皆様へ

P4. 第25回心臓血管外科術後の会
P5. 昼神温泉 湯元ホテル阿智川にて開催

P7. 術後体験記
患者さんの体験談

P3. 感謝状贈呈
術後20年の患者さん表彰

P6. 検査科
心臓弁膜症の検査

P8. 会長ごあいさつ
橋口 順子 会長から皆様へ



ごあいさつ

術後の会 会員の皆様へ

寒さ厳しい中、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか？

昨年の術後の会は、5年ぶりのバスツアーでの温泉旅行となりました。コロナでしばらくオンラインで開催させていただきましたが、5年ぶりに直接皆様とお会いしてそれぞれの近況を聞かせていただきました。遠方から久しぶりに再会した患者さんもあり、とても楽しい1日となりました。

心臓大血管の大きな手術をして20年以上元気な方が増えてきました。そのような患者さんを多く見させていただいた経験から、長生きの秘訣として私が勧めるのは、バランスの良い食生活と適切な体重管理、適度な運動、しっかり睡眠をとること、活発な社会参加、そして、趣味を楽しむこと。でしょうか。

また、今年も皆様とお会いできる日を楽しみにしています。

名古屋徳洲会総合病院 総長
心臓血管外科

大橋 壮樹



3階病棟スタッフ 術後の会 会員の皆様へ

少しずつ春の足音が近づいてきましたね。お元気にお過ごしでしょうか？

手術や入院生活、大変なことも多かったと思いますが、こうして新しい季節を迎えられたこと、本当に嬉しく思います。これからも無理せず、ご自身のペースで元気に過ごしてくださいね。

また術後の会などでお会いできる日を楽しみにしています！



感謝状贈呈

術後 20 年元気に過ごされた患者さんへ
感謝状と記念品の贈呈を行いました。



術後 20 年を迎えられ、このたび感謝状を受け取られたこと、心よりお祝い申し上げます。
長い年月を乗り越え、前向きに歩んでこられたその姿勢は、周囲の方々にも大きな励みになっている
ことと思います。これからもお体を大切に、健やかで充実した毎日をお過ごしください。

第25回

心臓血管外科術後の会

昼神温泉 湯元ホテル阿智川にて開催 バス旅行開催は5年ぶり

2024年10月5日（土）、25回目となる心臓血管外科術後の会を昼神温泉 湯元ホテル阿智川にて開催いたしました。患者さんとの交流や、術後の知識向上を目的とし、患者さんやスタッフなど、総勢120名ほどが参加しました。

到着!!

昼神温泉 ホテル阿智川



久々のバス旅行を兼ねての開催。患者さん、当院のスタッフもワクワクの1日です♪

医療講演

- 「健康なからだを保つために」
リハビリテーション科 渡邊 真吾 副主任
- 「術後に気をつけること」
心臓血管外科 大橋 壯樹 総長

10:30

医療講演



余興



千川医師も歌で盛り上げてくれました。



大垣徳洲会病院 山崎薬局長の南京玉すだれ、三木医師のバイオリンコンサートで会場は大盛り上がり!

職員自己紹介



参加した病院スタッフ全員が自己紹介をしました。普段はマスクをしているので、顔を合わせてご挨拶させていただくいい機会となりました。

14:00

お楽しみ抽選会



恒例のお楽しみ抽選会!! 当選された方からは喜びの声をいただきました。

医療相談会

11:10



医療相談会は大盛況! 患者さんやご家族からたくさんの質問が寄せられ、スタッフも熱心にお答えしました。皆さんの健康への関心の高さを改めて感じる会でした。

12:30

昼食大宴会



心臓血管外科 三木医師から乾杯のご挨拶。美味しい料理を囲んで、会話も弾みました! 患者さんとスタッフの笑顔があふれる時間に。

乾杯!



15:00

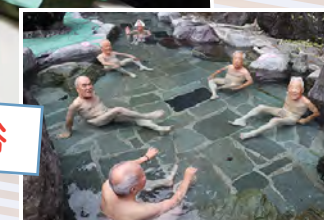
来年も元気で
お会いしましょう!

ハンドマッサージ

11:40



温泉入浴



当院看護師によるハンドマッサージ。温泉入浴で心も体もリラックス!! 癒しのひとときを楽しんでいただきました。

大橋総長や当院スタッフと
記念撮影をしました!

記念撮影



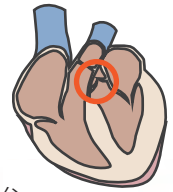
大橋総長やスタッフと記念撮影! 笑顔あふれるひとときに、素敵な思い出がまたひとつ増えました!

集合写真!!



最後はみんなで記念撮影。来年も元気で皆様に会えることを名古屋徳洲会総合病院スタッフ一同楽しみにしています!! ありがとうございます。

心臓弁膜症について



正常な弁



弁が狭くなった状態



心臓弁膜症は、何らかの原因によって弁の機能が低下する病気の総称です。

心臓には右心房、右心室、左心房、左心室の4つの部屋が存在しており、血液の逆流を防ぐ「弁」があります。その「弁」に何かしらの障害が起きることで、血液の流れが悪くなります。

心臓弁膜症には大まかに2つのタイプがあります。弁の開きが悪くなって血液の流れが妨げられる「狭窄」、弁の閉じ方が不完全なために血流が逆流してしまう「閉鎖不全」です。

当院の臨床検査技師として働く足立 穂美さんに、心臓弁膜症の検査や治療、術後の経過観察などについて聞きました。

心臓弁膜症 「どんな検査」??



1. 診断をするための検査

心臓弁膜症は進行性の病気であることから、定期的なフォローアップを行い、治療に介入する適切なタイミングを見逃さないことが大切です。

①問診・聴診

息切れ、胸の痛み、胸のドキドキ、心雑音は？

②心エコー検査（超音波検査）

悪くなっている弁を特定し、その動きや狭窄・逆流の度合いを測定し、心臓のサイズや機能と合わせて総合的に診断します。
この検査は痛みを伴わず短時間で済みます。



2. 治療方針を決めるための検査

心臓弁膜症と診断されたら、治療方針を決めるために、さらに詳しい検査を行います。心機能全体の状態や他の臓器への影響、合併症が併発しているかなども調べます。



▲心臓 CT



▲心血管造影

3. 治療方法

心臓弁膜症は、自然治癒することはありません。患者さんの状態によって、保存的療法、外科的治療（弁形成術、弁置換術）、カテーテル治療（TAVI、Mitra Clip）3つの選択肢から治療方法が選択されます。

近年、治療の選択肢が増えていきますので、高齢だからと諦めずに、全ての治療法を理解した上でご自身の価値観や希望を医師に伝えて相談しましょう。

4. 定期検査

定期的に血液検査（心臓から分泌されるホルモンの一種である脳性ナトリウム利尿ペプチド「BNP」を測定）やエコー検査など行い経過観察を行っていきます。定期検査も大切な治療なので必ず受診しましょう！！



検査科 副主任
足立 穂美

入院患者さんへの検査の説明やご不安に思っていることの説明など、安心して検査して頂けるように努めています。検査に関するご質問などがありましたら、お気軽にご相談ください。

ある日突然の痛み !?



患者さんから寄せられた 「術後体験談」



心臓血管外科の手術を受け、無事に退院された患者さんから、体験談や感想のお便りが届いていますので、ご紹介させていただきます。

R.Yさん（77歳 男性）

手術前の不安を相談、 病に打ち勝つことができました！



冠動脈バイパス術を受けるにあたり、心身ともに不安だらけの毎日を過ごしていました。しかし、手術前の先生とのお話の中で、「ある質問」を問いかせられ、病に打ち勝つことが出来ました。その質問とは、「術後、何が一番最初にしたいですか？」というものでした。私はその質問にとても感動し、それと同時に希望を持つことができました。弱気だった自分を「頑張らねば」と前向きな気持ちにさせてくれたのです。

手術は無事に終わりました。先生、並びにICUのスタッフの皆様、本当にありがとうございます。看護師さんの笑顔にも助けられました。

今は苦手なウォーキングも継続し、体を大事にしながら趣味の囲碁をすることができます。当たり前の日常を送ることが出来ることに感謝し、これからも豊かな人生にしていきたいです。

A.Mさん（72歳 男性）

入浴後の背中への激痛！！ 大動脈解離。



健康には自信のあった私。入浴後に急に背中への痛みが走りました。1～2分後には背中全体に激痛が走り、救急搬送されました。それでも多くの先生方に何とか助けていただき、一命をとりとめました。

「大動脈解離」の診断でした。その後は定期検査ですらに大動脈瘤が見つかり、カテーテルの手術も受けました。術後はICUに2日間、その後一般病棟に移り、看護師さん含め、多くのスタッフの皆様のお世話になり退院することが出来ました。

退院後の森田先生のお話では、手術も検査結果も大変良好とのことでした。

助けられた命、大切に大切に一日一日を送りたいと思っています。

本当にありがとうございました。

匿名希望（女性）

緊急入院で不安な日々、 親切なスタッフさん方への感謝。

最初は病院が苦手な私が緊急入院することになり何をやるのか不安しかありませんでした。しかし、先生や看護師さん、医療スタッフの皆さんやお部屋の清掃をしてくださる方々一人ひとりが親切で笑顔で接して下さったので、不安感無く話せるまでそう多くの時間はかかりませんでした。

私のために何度も見回りに来て下さったり、親身に話を聞いていただき、感謝の気持ちがより深まり、病院に対する印象も変わりました。

退院前日、右ふくらはぎが腫れてしまったときも、先生と看護師さんが迅速に原因究明に努めて下さっ

たおかげですぐに対処していただくことができました。

大動脈弁の手術で助けていただいただけでなく、入院中何かあってもすぐに対処していただき本当に感謝の言葉しかありません。

こうして幸せな入院生活を送ることが出来たのは病院スタッフさん方のおかげです。

改めて深く感謝します。
ありがとうございます。



ごあいさつ

心臓血管外科 術後の会 会長
橋口 順子



皆さま、お元気でお過ごしでしょうか。

寒さの中にも少しずつ春の気配が感じられる頃となりました。日ごとに日差しが和らぎ、庭先ではふきのとうや菜の花が顔を出し、春の訪れを静かに告げています。

私は 95 歳になりましたが、こうして皆さまとともにこの会を続けられることが、何よりの喜びです。手術を受けられた方は、それぞれに不安や試練を乗り越えてきましたが、こうして共に励まし合える仲間がいることは本当に心強いことです。体調のこと、日々の小さな悩み、ちょっとした喜び——何でも気軽に語り合える、そんな場であり続けたいと思っています。

春は「新しい始まりの季節」とも言われます。寒さで縮こまっていた体も心ものびやかに、無理のない範囲で外の空気を感じたり、小さな楽しみを見つけたりしながら、ゆっくりと春を迎えていきましょう。温かいお茶を飲みながら季節の移り変わりを感じるだけでも、心がほっと和むものです。

これからも、皆さまと一緒にこの会を大切に育てていけたらと思います。どうぞお体を大切に、健やかな毎日をお過ごしください。

また術後の会でお会いできる日を楽しみにしております。